



みんなで えがこう やすらぎ堤の未来

ミズベリング信濃川やすらぎ堤会議 【開催報告】

国土交通省 北陸地方整備局
信濃川下流河川事務所

平成27年1月31日、信濃川下流河川事務所では新潟市と共同で「ミズベリング信濃川やすらぎ堤会議」を開催しました。萬代橋から上流のやすらぎ堤は、全国で初めて5割勾配の緩やかに整備された堤防で、堤防裏の緑地と合わせ、新潟中心市街地における水辺の憩いの場となっています。「ミズベリング信濃川やすらぎ堤会議」では、信濃川がもっともっと活用されるよう、『みんなでえがこうやすらぎ堤の未来』をテーマに、約120名の方が参加され、皆さんからのアイデアや意見を交換しました。

水都大阪パートナーズよりプロデューサーの泉英明氏をお迎えし、大阪での先進事例を題材とした基調講演が行われました。その後やすらぎ堤を愛する6名のパネラーによるプレゼンテーションの後、新潟大学の岩佐明彦准教授をコーディネーターとして行政サイドを交えたパネルディスカッションを行いました。これからもっと活用しやすくするにはどうしたら良いか、やすらぎ堤の水辺をどのようにしていきたいか、やすらぎ堤ブランドの必要性、活動する仲間を増やしつなげる仕組みについて、パネラーや会場の参加者から活発な議論が行われました。

参加者は、やすらぎ堤の魅力を再確認するとともに、やすらぎ堤の新たな活用について、様々な利用者が連携し積極的に挑戦していくことを誓いました。

- 開催日時 平成27年1月31日(土) 13:30~17:30
- 会場 NSTゆめホール
- 主催 新潟市・国土交通省信濃川下流河川事務所
- 第1部 「まなぶ」先進事例基調講演 泉 英明(水都大阪パートナーズ プロデューサー)
- 第2部 「かたる」やすらぎ堤を使い、愛するパネラーによるプレゼンテーション
パネラー・行政・会場参加者で“やすらぎ堤の未来”を討論
コーディネーター 岩佐 明彦(新潟大学工学部建設学科 准教授)
パネラー 鈴木寿行、肥田野正明、小林和人、逸見覚、馬場伸行、久保田健司
- 第3部 「つながる」交流会



ミズベリングは
「水辺+RING(輪)」、
「水辺+R(リノベーション)+ING(進行形)」の造語。
水辺の新しい活用の可能性を、創造していくプロジェクトです。



新潟市都市政策部
池田部長の開会挨拶



信濃川下流河川事務所
瀬崎所長による主旨説明



水都大阪パートナーズ
泉英明氏の先進事例基調講演



新潟大学 岩佐准教授ら
パネラーのプレゼン



パネルディスカッション
の状況



様々なアイデアが
形になりました